

2016ふらのフォーラム 参加者アンケート集約

アンケート回答数 24

【1. 期日・日程について】

①参加しやすい：13 ②一考を要する：7 ③その他：3 ○なし：1

①参加しやすいについての記述

・夏季休業中の開催なので参加しやすいと思います（他の出張との兼ね合いもありますが）。

②一考を要するについての記述

▲夏休みに入って間もなくなで、なかなか難しいですね。

▲夏休みに入っすぐなので慌ただしく、もう少し後の方が参加しやすいのですが…。

▲今回は参加できましたが、私が小学校勤務だったら参加できませんでした（小学校は7/25まで学校があるので）。

▲なるべく全ての学校とまではいかないまでも、夏季休業に完全になってからの日程になったらいいのではないかと思います。

▲1日目が終業式であり、学校事情から参加できなかつた。1日でもずれていたら良かった。

▲25日はまだ学校があり、2日目のみの参加になりました。

▲7/27～28あたりだと、学校業務も一段落し、参加しやすかつた。

▲市民の皆様にこのフォーラムの存在を示して欲しかつた。

③その他についての記述

・毎年とても勉強になります。今年のテーマを見てなんとか2日間参加したいと思い、日程は無理やり合わせました。

・月曜日は少しつらいかな。例えば、全道中体連後とかではダメですか。

●一考を要するの意見では、夏季休業が開始してすぐの開催は厳しいという意見が多かつたですね。

【2. 講演について】

・学校は学校だけで教育を扱っているわけではなく、その町にある学校、ひいてはその地域にある学校として、保護者・地域などと共同して、組織的に教育を展開していく必要があるのではないかと感じました。そうした教育システムが確立し、一体となった教育が実現する、そして、その教育を受けた子どもたちが将来大人になった時に、またその地域の子どもたちを育てていけるような循環が出来上がってけるといいなと思いました。

・講演の内容はとても素晴らしいと思います。というか、事務職員協議会の研究大会（管内・全道）で、このレベルの講演がないのはなぜだろうと思っています。音響設備の使いこなしが上手いかず、マイク音量が小さすぎた。

・初めて参加しました。義務に来て日も浅く、領域論をきちんと学んでいないため、講演①でその一端に触れつつ、あらためて公教育の在り方と事務職員のスタンスを振り返ることができて、とてもよかつたです。全道研よりもまず一番先にふらのフォーラムに来るべきだったと反省しています。尾崎先生のお話をもっと聞きたいです。そして我々も、現場の実践をもっとフィードバックしてあげなければと思いました。

- ・尾崎先生・末富先生のお話，大変勉強になりました。ありがとうございます。子どもの貧困対策は，私の町でも非常に重要な問題です。学んだ事を少しでも明日からの仕事に活かせるよう頑張ります。
- ・お二人の先生の研究テーマと，北海道の学校事務を絡めてのテーマがよい。
- ・現場では，日々目の前のことに対応するだけで精一杯で，考えることができないことを考えるきっかけになる講演でした。キャリアベースとポジションベースについて考えていかなければならないと感じた。
- ・パワーポイントを使用した目で見えるものを取り混ぜながら，話を視覚で訴えていたように思いました。
- ・SSWは，まだ馴染みないが，もう少しその役割や，学校事務職員との兼ね合いや係わりを聞いてみたい。
- ・末富先生のお話は，文科や全国の先進地の情報が聞けて大変参考になった。
- ・大変またよいお話を聞かせていただき感謝します。とりわけ尾崎先生の疎外論のまとめは，私の若い時の歴史と重なり懐かしさと同時に，それらの残された文章から見事にその時の“考え方”や背景と“ねらい”も系統的に話されたことに驚きと今後の北海道の学校事務への助言を引き続きお願いしたいと思いました。
- ・尾崎先生の話の冒頭の図の説明がとても分かりやすく，北響2000からの抜き出しであることで，やはり北海道の先輩方がやってこられ，大事にされた領域は，大切だと再認識できた。領域は難しいとよく耳にするけど，また尾崎先生から話が聞けて良かったです。生活と地域と学校を結んでいる学校事務職員になれるよう，小さな声もキャッチできる耳と感度を大事にしていこうと思います。また次回も尾崎先生の，持田先生・岡本先生の話が聞きたいです。
- ・尾崎先生・末富先生のお話を聞く機会はとても貴重で勉強になります。毎年“今”の教育情勢について話を聞いていきたい。
- ・菅原さんのお話を聞いて，連携会議についても少し動いてみようかと感じています。
- ・末富先生の講演は，いつも自分たちはまず何をしたら良いか，何ができるのかわかりやすく話していただけるので，楽しみにしていました。意識して，少しでも前に進めるよう，毎日の業務に取り組んでいこうと思います。
- ・いつもながら勉強になります（といいながら，ふらのフォーラム初参加です）。難しい言葉が飛び交っていますが，「学校事務の仕事が研究の対象になる」ということが「私たちの職の重要性・可能性があるから」と考えたら，今の仕事を頑張ろうという活力にできました。
- ・尾崎先生の講演の中では「韓国の革新学校」が，どうして教育行政職員の配置数が多いのか興味を持ちました。裁量権が大きいからでしょうね。ということは，「権限と責任」をどう捉えるのかが，古くて新しい未解決の問題を考えるきっかけになりました。
- ・末富先生の講演では，茨木市の「学力」のとらえ方，長い目での支援，SSWの動きと事務職員のかかわりについて，興味深く拝聴しました。
- ・韓国の学校の実践が日本でもできればと思いました。
- ・学力だけではなく，貧困にも目を向けないといけませんね。
- ・勉強しました。「社会主義」は，私も常々考えているキーワードで，そこで尾崎先生と一致できてよかったです。
- ・就学援助の周知が100%でないことはすごくショッキングでした。江別市も北広島も募集？案内の他に，制度内容を周知する文書も配付したので，制度的にしぼりができているのかと思っていました。

【3. シンポジウムAについて】

①良かった：9 ②一考を要する：0 ③その他：1 ○なし：14

①良かったについての記述

- ・子どもの学習権保障のことや，貧困問題，教育の在り方など，学校が考えるべき諸課題について勉強になり

ました。会場からも活発に意見・発言があり、とても有意義な時間だったと思います。

- ・コーディネーターの方の核心をついた話の進め方がよかった。
- ・せっかく両先生が来てくれているのに、現場の実践を自分の言葉でフィードバックしてあげられなくて、本当に申し訳なく思っています。今度出る時は、両先生の聞きたいことを事前に聞いて、一人一人実践をフィードバックしてあげられると、ご恩返しができるかなと思いました。
- ・菅原さんの発表とも続いてのお話で、構成上もよかったと思いました。藤崎さんの実践に裏打ちされたお話はいつもいいですね。人選が良かったです。
- ・末富先生の学校間連携は世界的にムーブメントが起きている！ふらのから世界へ！は、とても元気になりました。ここ数年、めまぐるしく私たちをとりまく状況が変わっており、迷っている場合ではないと感じました。大事なもの、核になるものは、自信を持って大事にしていきたいと思いました。
- ・学校を変える気持ちがあるかどうか、事務職員の特殊性についてとても深く考えながら帰りました。
- ・内容が難しく、理解できないことも多々ありました。しかし全体的には、多くの参加者が発言するなど、全体で行う形となってよかったと思います。司会者他、シンポジストの皆さん、ありがとうございました。

③その他についての記述

なし（空欄）

*〇なしの記述

▲「原理，原則」のところ、例えばシンポジストとして若者を登場させないことが、参加人数の半減につながっているのではないだろうか。

●概ね、良かったという意見が多かったですね。実践のフィードバックや、若者の参加をという意見もありました。

【4. シンポジウム B について】

①良かった：12 ②一考を要する：4 ③その他：1 〇なし：7

①良かったについての記述

- ・良かったです、1日目参加していないので、流れがよくわかりませんでした。柱があったのですね。
- ・上川・石狩・北見、それぞれのとりくみ状況を聞くことができよかった。
- ・藤崎さんの話をもう少し聞きたかったです。保護者負担軽減だけでは話が多く聞け元気が出ました。ここ何年も次の世代にどうつなげるか分からないとの話を聞いている気がしますが、皆さんが行っている姿を見れば、直接会って話をすれば、若い人（新しい人）はきっと次につないでいけるとおもいます。
- ・とってもアットホームな中で、様々な意見・交流が聞けて良かったです。課題は多いですね…。
- ・事務職員として学校で働く中で、職務について考え続けるという言葉が心に残りました。ありがとうございました。
- ・各地域の学校間連携の実状が分かり、良かったです。元気をもらいました！

②一考を要するについての記述

▲午前中の講演の話が全くなかったのが、とても残念です。

▲あまりに行き当たりばったりで、かなりがっかりした内容だった。

▲「学校間連携」とは何か？連携組織の在り方などは大切ですが、連携を使って何をしたかの交流をすすめて

いただきました。もちろんいくつかの実践を伺えたのは、大変参考になりました。

▲人数は少し絞った方がよかったかも。

③その他についての記述

なし（空欄）

*○なしの記述

- ・ぶっつけ本番の良さが出ていて良かったです。リラックスした感じで話しやすい雰囲気があって良かったです。
- ・村岡さんの言っていた「主権者として」の視点、とても大切だと思います。教員でも最近その「主権者教育」の視点が欠けているように思います。教育を受けるのは「権利」であり、「義務」であると考えれば、今日の講演を聞くことが非常に重要ですね。
- ▲「無茶ぶり」が過ぎたのでは？シンポジストは、自己紹介以外発言がない。
- ▲うーん。。。せっかく前に座っている人がいるので、もうちょっと話をさせた方がよかったのでは？と思いました。

- をつけてくれた数的にも、概ね、良かったという意見が多かったですね。
- Aと同じく、実践の紹介等があればという意見がありました。
- ぶっつけ本番的な進め方が、堅苦しくなく良かったという意見と、もう少し改善をという意見に割れていることがわかりました。

【5. フォーラム全体を通して】

- ・毎年開催していただく実行委員の皆さんに感謝します。尾崎先生・末富先生のお話を聞けるのが一番楽しみです！です。
- ・元気もらえるフォーラムでした。講師の先生方、運営に携わった皆様、本当にお疲れ様でした。有意義な時間、ありがとうございました。
- ・今年も出張で来ました。来年も出張で来られるように、校内実践を頑張ります。
- ・もっとたくさんの人に参加してもらえたらよいですね。
- ・若い方にも参加してもらえるようにしたいですね。
- ・自分たちの職と子どもの貧困について、改めて考えるきっかけになりました。
- ・原点に回帰して、また踏み出す、進めばいいということが耳に焼きついた。
- ・今後とも何かと継続し、未来志向の事務職員の光（灯）であってほしいものと思います。
- ・継続していることに敬意を表します！参加者は持ち帰り、色々な人と交流することで広げていけたら。
- ・もっと多くの方が参加してもいい内容と毎年思います。今年も自分の仕事を振り返るため、この先を見据えるため、とても大切な研修となりました。実行委員の方々、本当にありがとうございました。
- ・1日だけの参加でしたが、大変勉強になりました。学校事務職員として変わりたくないのは、「子どもたちのために仕事をしている」ということです。様々な環境の変化に対応しつつ、仕事の本質を忘れずに日々頑張っていきたいと思います。準備等々お疲れ様でした。
- ・今回、千葉県から初めて参加させていただきました。フォーラムは、共同実施・学校間連携など、事務職員だけが関わる話題（事務トーク）だけでなく、貧困問題や学習支援、地域と共にある教育の在り方など、子ども中心の話題が多く聞かれました。「教育」について広い視点で議論を深められていることに感銘を受け

ました。管理職にも聞いてほしい内容でした。2日間ありがとうございました。また、実行委員会の皆様、お疲れ様でした。

- ・参加者が半減したとのこと、学校間連携にしても、やはり事務職員連携から拡がらない現実があります。できるところからやっていくのはわかりますが、ムーブメントを起こすまでには至らない。私たちにそういうパワーがないのか、ネガティブな気持ちになります。かといってあきらめることはなく、最後まで悩みながらもやっていくのだらうと思います。
- ・素晴らしいと思いました。もっと早く来れば良かったです。反省しています。やはり、最前線の公教育理論を聞き、北海道の学校事務の歴史とこれからのアイデンティティーを考える機会が絶対に必要だと思っています。このフォーラムなくしてはいけませんし、みんな出席しなければならないです。資料の数字が小さくて見えづらかったです。年のせいですが…。
- ・今回もふらのフォーラムに参加して良かったと思います。今年はいつ頃あるのかな…と思っていたが、多忙感の中、HPを開くこともできず、他校の方（他市町村）に教えてもらったので間に合いました。管内協議会からのアナウンスがあると助かります。毎年ふらのフォーラム、とても貴重な場です。どうぞこれからも大変でしょうが、続けてください。世界につながります！富良野市の連携会議の資料ありがとうございます。とても整理されていて勉強になります。

▲運動としての基本理念がなかった様な気がしました(1日目のみでした)。運動の原点を見つめ直しながら、今後ともありつづけて欲しいと思います。私もまた、有機農業を農業の原点として、有機農業運動をし続けていきたいと思います。

▲準備時間が足りなかった。会場が施錠されていて、会場設営が遅れ、準備をしながら参加者の受け入れとなってしまった。

☆パン、美味しかったです♡

- 大変勉強になりましたという意見が多数でした。継続してくださいという声も多かったです。
- もっと参加して、多くの人に聞いて欲しいという声が多かったです。
- 尾崎先生・末富先生への感謝の言葉や、実行委員会への労いの言葉も多くいただきました。

みなさん、本当にお疲れ様でした。